	学科名	学年	教科		科目		教科書				$\top$
海洋科		1年	水産	海	海洋情報技術		海洋情報技術(海文堂出版)				主体的に
	科目の目標	水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、水産業や海洋関連産業において情報技術を活用するために必要な資質・能力を育成する。							識・技能	判断・表	に学習に取り組む態度
月·考査等	等 単元名	指導内容	評価規準 知識·技能【知】 思考·判断·表現【思う】		主体的に学習に取り組む態度【態】	評価方法	補助教材	指導上の改善点など			IQ
4	水産や海洋における情報技術	さまざまな情報技術	情報社会において、情報や情報	情報技術について思考を深め、 基礎的な知識と技術を活用する	情報社会において、情報や情報 技術の果たしている役割を探求 しようとする。					0	©
5		情報セキュリティと情報モラル	キュリティ管理、危機管理の方 法について理解できる。	情報のセキュリティと情報モラル について思考を深め、基礎的な 知識と技術を活用して適切に判 断し実践することができる。	情報のセキュリティと情報モラル について興味をもち、それらの 意義 や必要性を探求しようとする。	ノート提出 小テスト				0	©
中間考査	水産や海洋における情報コミュニケーションと情報デザイン	情報メディア	ニケーションを実現するための	情報メディアについて思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践すること	情報コミュニケーションについて 自ら学び、主体的かつ協働的に 取り組もうとする。	中間考査の結果 ノート提出 小テスト			0	0	0
6		情報のデジタル化と情報処理	情報のデジタル化と情報処理に	課題を発見し、合理的かつ創造	情報のデジタル化と情報処理に ついて自ら学び、主体的かつ協 働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト				0	©
期末考査						期末考査の結果			0	0	
	コンピュータとプログラミング	情報の表現法	ることができる。		情報の表現法について自ら学 び、主体的かつ協働的に取り組 もうとする。	ノート提出 小テスト			0	0	T
8		アプリケーションソフトウェアの使用 方法	アプリケーションソフトウェアに関する基礎的な知識や技術を身に付けることができる。	アプリケーションソフトウェアの使	アプリケーションソフトウェアの使用方法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。				0	0	
課題テ		オペレーティングシステム	式、オペレーティングシステムを 使用してのファイル管理方法に	て思考を深め、基礎的な知識と		ノート提出 小テスト			©	0	
10		プログラミング	内容を理解することができる。	ミングについて思考を深め、基	プログラミング言語の基礎的な 内容について自ら学び、主体的 かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト			0	0	+
中間考査						中間考査の結果			0	0	
	情報通信ネットワークと データ利用	情報通信ネットワークの概要	や種類、利用方法を理解することができる。	情報通信ネットワークの仕組みや種類、利用方法について思考を深め、基礎的な知識と技術を	情報通信ネットワークの仕組み や種類、利用方法について自ら 学び、主体的かつ協働的に取り	ノート提出 小テスト				0	0
11		情報通信ネットワークの活用	情報検索や情報共有と問題解決、データの収集、整理、分析及び結果の表現方法について	活用して適切に判断し実践する 目的や状況に応じた構成要素と プロトコルを選択し、情報通信 ネットワークの活用を行うことが できる。	情報検索や情報共有と問題解	ノート提出 小テスト				0	0
期末考査						期末考査の結果			0	0	
12	水産や海洋における情報 技術の応用	海洋の情報システム	性を支援する通信システムについて理解することができる。	安全で経済性を支援する通信システムについて思考を深め、基 礎的な知識と技術を活用して適 切に判断し実践することができ	性を支援する通信システムについて自ら学び、主体的かつ協働	ノート提出 小テスト				0	0
1											
2		水産の情報システム	情報システムについて理解することができる。	情報システムについて思考を深	び、主体的かつ協働的に取り組	ノート提出 小テスト				0	0
学年末考査						学年末考査の結果			0	0	+